

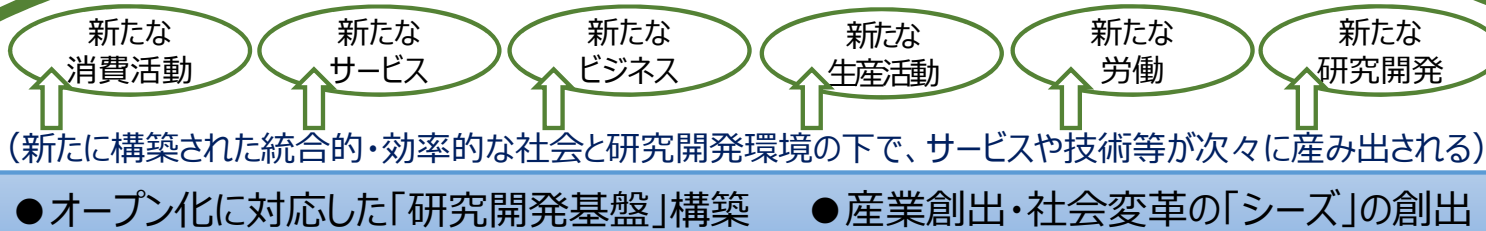
<第4次産業革命による超スマート社会（仮称）の構築>

- 科学技術の発展を背景として、あらゆるものが結びつき影響を与え合う世界が到来しつつあり、価値創造プロセスの変革や新サービスの創出が急激に進展
- このような時代においては、未来の社会・ビジネスを構想し、その構想の下で、関係する様々なシステム化の取組を総合的に進め、パラダイムシフトを自ら興していくことが必要
- これにより、新たな産業創造により産業競争力を強化し、効率的で人と環境に優しい社会を構築するとともに、課題を先取りし国際的に展開

世界では第四次産業革命とも称される変動の時代を先導すべく、科学技術イノベーション政策の競争

- ドイツ：インダストリー4.0
- 米国：先進製造 等

超スマート社会（仮称）の構築



先導的な取組

● 個別システムの統合 → 統合的・効率的な社会システムへ

● 未来の社会・ビジネスを構想した新たな価値を生み出すシステム化をめざした「先導プロジェクト」の推進

(例)



● 大変革時代に対応できる研究開発環境の整備

- 未来の種まきとなるチャレンジングな研究の仕組みづくり
- サイエンスのオープン化に対応した研究開発環境づくり

↑ 日本に「強み」のある技術・研究を「システム」の中核に統合；制御技術で新たな価値を創出

日本に強みのある技術・研究領域（光、ナノテク、素材、ロボット、ものづくり等）
新たな時代に対応する基盤的技術（IoT、ビッグデータ解析、AI等）